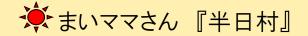


あかね文庫お話しの会 おひさまだより



子どもの頃好きだった絵本

"おうちの方にききました"



買ってもらったのか、保育園で借りてきたのか...? 絵も話も すごく印象的でした。絵はこわいけ ど、「読んでもらいたい」気持ちの方が強

く、母に何度も読んでもらいました。

本を読んでもらったという記憶はあまり 多くないけど、本の内容は意外にいまでも よく覚えているので、子どもに本を読んで あげることは大切なんだと思います。

子どもは飽きないし、真剣に聞いてくれる ので、これからもたくさん読んであげたいと 思います。

えほんの紹介

『半日村』 斉藤隆介・作 滝平二郎・ 絵 岩崎書店:

山の陰で一日のうち半日しか陽があたらない半日村。その貧しい村に一日太陽を当てようと、一人の男の子一平がうしろの高い山を削り始めます。はじめはばかにしていた子どもたちが、そのうち一平を助けて一緒に山を削りだし、それに大人たちも加わって村全体に広がり、ついに悲願を達成させます。 斉藤・滝平コンビの切り絵による創作民話絵本には、強くて優しい主人公が登場し、見る者の共感を呼び起こし、心に深く印象が残ります。

2013年1月 第6号

小さなおともだち

プレイルームで音楽会♪

מתתתתתתתתתתתתתתתתתת

新潟県立がんセンター新潟病院東7小児科お話ボランティア おひさまだより 第6号 2013年1月